

特別活動（児童会活動） 「手話で歌おう、心一つに」

川崎市立西野川小学校



単元（題材）目標

- 全校児童が手話に親しみ、手話が言語であることを意識し、心を込めて手話で歌う。
- 手話に興味をもつとともに様々なコミュニケーション手段があることあり、それを活用して豊かな人間となる一助とする。
- 人とのふれあいを積極的に深め、交流の輪を広げていこうとする態度を育てる。
- 違いを認め受容する態度を養い、共生の心を育成する。

（1）実施時期

7月中旬

*音楽集会（年間3回）や朝会など、機会あるごとに歌っている。

（2）対象（学年等・人数）

全校児童 385名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 全員

（4）実施内容

- 音楽委員会の児童が、全校児童の前で手話を披露するために熱心に活動した。
また、ビデオ撮影により学校放送を利用し、手話の方法などを学ぶ機会とした。
- 委員会の児童が各クラスに指導に行き、さらに理解が深まった活動となった。

（5）成果

- 来年度の開校40周年を意識した音楽委員会の集会活動の一環として実施したが、個性の差、一人として同じ人はいないことを理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ時間となった。
- 誰もが安心して生活できる権利を理解し、誰もが共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを理解したことで、温かい気持ちで接することができる児童の育成を図ることができた。